

3年ぶりの賑わい

収穫祭を実施しました！

あいちサトラボ収穫祭に想う

今年の収穫祭は、2019年の収穫祭以来3年ぶりに公園マネジメント会議団体と共に一般来園者を迎え、多くの方と楽しむ収穫祭として開催することができました。

また、来年2023年秋にはジブリパーク二期オープンにより、あいちサトラボと隣接するエリアに“もののけの里”ができ、今までと全く違う環境で収穫祭が開催されることとなります。そういった状況を考えると、今年は特別な収穫祭になったと思います。

従来の収穫祭ではメインイベントとして、“餅つき体験”をしていただきましたが、今なお流行するコロナウイルス感染症対策として、今回は自らが作って試食する”餡ころ餅づくり”とし、その他の行事は例年どおりに行うことができました。

ここ2年間の縮小開催と違い、今回は休憩スペースの増加、大道芸での盛り上げ、シャボン玉遊びなどで充実を図り、皆さんの笑顔がとても増えたように感じました。これも、ほぼ通常開催に近い収穫祭であったからだと思います。

来年からは、より多くの来園者が参加、または、この地にお越しになる方が増える“あいちサトラボ”“もののけの里”エリアとして、どのように進化していくのか、我々開拓団のメンバーも大いに期待しているところです。

皆さん、ぜひ進化する次回の収穫祭を楽しみにしてください。

あいちサトラボ里山開拓団





各グループの活動（2022年6月～2022年11月）

田んぼグループ

本年で、11年目を迎えたサトラボの田んぼはあちらこちらと、老朽化が見られます。そのひとつが排水抗です。田植え前から稲刈りまでの間、田んぼには、稲の生育のため水を溜めますが、この水が漏れないようする為には、ダムの役目をする排水抗が必要です。

この排水抗の材料は木材を使用して作成しているため、ある程度時間が経つと腐ってきます。そのため、しっかりと防腐剤を塗り、その上からさらにペンキも塗り、新しく作り直しました。これから10年は大丈夫です。



新しい排水抗

畑グループ

夏野菜の収穫は、サトラボの畑のハイライトです。調理班でも紹介しているように、サトラボカレーの具材になっているジャガイモ、タマネギ、ニンジン、赤や黄色のパプリカ、カボチャ、ズッキーニは全てサトラボ産です。他にも夏野菜の定番トマト、キュウリ、トウモロコシ、ソラマメ、エダマメ、スイカ、ゴマ等々。暑い中、収穫はメンバーの気持ちを高めてくれます。



夏の定番 スイカ！



木槌でゴマの実を落とします

森グループ

園路整備として草刈りや危険木の除去、鈴鹿寒葵の保全用の縄張りなどをしました。森の手入れでは雨水タンクの修理や椎茸原木の本伏せをし、竈用の薪を運びましたが、大量にあり、まだ森に残っている状況です。今年は里池の排水路を整備して詰まりを改善しました。竹林では防御策により筍も順調に育ち収穫できました。巨大かぼちゃを育ててハロウィンの飾りを作りました。雨の日は野外作業ができないので色々な紐結びを教えました。例えば薩摩編みや菊結び等です。集合用の鈴ベルト修理や調理用の包丁もとぎました。



薩摩編



菊結

果樹グループ

ブドウは大きな病虫害被害を受け、残念ながら収穫出来ませんでした。加藤アドバイザーに粗皮削り（病虫害対策）、長梢剪定等指導を受けましたが残念な結果となりました。

キウイフルーツは根から出た枝に雄花が咲き、受粉と摘果の効果で大きな実が沢山つきました。収穫祭での収穫体験が楽しみです。

ブルーベリーは地植えから鉢上げして順調に育っています。来年の収穫が楽しみです。この春には果樹名札を10年振りに作り替えました。



大きなキウイの実がなりました

花壇グループ

夏の花壇を鮮やかに彩るのはキキョウです。黄色いルドベキアも負けていません。子供の背丈ほどにも伸びるので、花に囲まれて小道にしゃがんでみると、花に集まるクマバチなどの羽音も聞こえます。



キキョウが鮮やかな花壇と小道



秋に入ると春に向けてスマイレの苗の準備を始めます

イベントグループ

新型コロナの制限が緩和されて、各プログラムの活動も、のびのびと行えるようになってきました。今回は、サツマイモエコクラブの紹介です。6月に落葉を集めて作った「踏込み温床」で育てたサツマイモの種芋からイモ苗を切り出して植付けをしました。10月の収穫時にはちゃんとサツマイモが大きく育っており、参加された皆さんは、植物の生命力に感激していました。



サツマイモの試し掘り



特集：香久山幼稚園農業体験

サトラボでは各種農業体験を受け入れています

香久山幼稚園農業体験

7月21日（木）日進市香久山幼稚園の年長組約80名の園児が農業体験に来ました。

これまでも収穫体験や苗の植付けなど農業体験の受け入れをすることはありますが、80名という人数の園児の受け入れをするのは初めてのことです。事前に先生方に下見に来てもらいサトラボの様子を見学し、当日のグループ分けや体験内容などの打合せを行いました。

当日は「ピーマンとニンジンの収穫」「スイカ畑の見学」「水路での笹船流し」「麦ストローでのシャボン玉遊び」と盛りだくさんの内容を体験してもらいました。



スイカ畑を見学して、興味しんしん



自分の手でピーマンを摘むことも、葉っぱ付きのニンジン土から引っこ抜くこともおそらくみんな初めての体験で「とれた！」という元気な声が畑に響き渡りました。スイカが畑でどのように育っているかを間近で見学し、自分が流した笹船をずっと追いかけたり、麦藁の中が空洞になっている説明を聞いてから、自分の好きな長さのストローにしてシャボン玉を作りました。それぞれの体験で見せてくれる園児の歓声や笑顔に我々の方が嬉しくなりました。



水路での笹船流し



麦ストローでシャボン玉



収穫したニンジンを自分で洗って持ち帰ります



サトラボメモ

サトラボの生きもの

サトラボでみられる生きものを紹介していきます。
トノサマガエル（アカガエル科トノサマガエル属）

田んぼを代表するカエルで、体の色は田んぼに隠れるための保護色になっています。



カエルでは珍しく繁殖期にオスが金色に変色します。

サトラボでは毎年よく見られるカエルですが、今年はちょっと少なかったようです。



私のおすすめ

サトラボカレーの紹介 調理班

夏はピリッと辛いカレーがいいですね。今回は、子供たちにも好評の、サトラボカレーをご紹介します。

ジャガイモ、タマネギ、ニンジンをお油でいため、市販のルーでとろみをつけます。米は「あいちの香り」もちろんサトラボ産です。

カレーの上に赤や黄色のパプリカ、カボチャ、ズッキーニを素揚げしてトッピング。

付け合せは、ラッキョウ、みょうがの甘酢漬け、菊芋の味噌漬けなどです。

特別な作り方がある訳ではありませんが、具沢山のカレーは、野菜からのダシで絶妙な仕上がります。

自画自賛？団員の笑顔が何よりの証拠です。



団員やたいけん隊に大好評のサトラボカレー

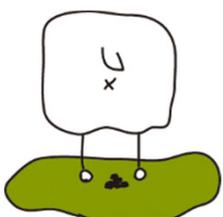
今後の行事予定

今後のサトラボの行事予定をお知らせします。

月	内 容		
1 2月	3日 (土) 里山たいけん隊⑦	17日 (土) 里のエコクラブ①	24日 (土) 月例会
1月	7日 (土) 里山たいけん隊⑧	21日 (土) 里のエコクラブ②	28日 (土) 月例会
2月	4日 (土) 里山たいけん隊⑨	18日 (土) 里のエコクラブ③	25日 (土) 月例会
3月	4日 (土) 里山たいけん隊⑩	18日 (土) 里のエコクラブ④	25日 (土) 月例会

お知らせ

「あいちサトラボ里山開拓団」の団員を募集しています。開拓団は、あいちサトラボエリア内で、団員相互に協力しながら里山づくりの活動をしています。毎週土曜日が共同作業日で、多くの団員が活動しておりますので、是非見に来てください。お待ちしております。



編集後記

サトラボ通信3号です！今号は2022年の春から秋にかけての話題を集めています。コロナ禍を経て、徐々に日常が戻りつつあると感じ取れることがうれいですね。



開拓団のブログです
こちらよろしく

発行所 あいちサトラボ里山開拓団
 発行人 片岡 巖雄
 住所 愛知県長久手市茨ヶ廻間乙 1533-1
 愛・地球博記念公園管理事務所 里山開拓団事務局
 TEL 0561-64-1130